

よねざわ

市議会だより

平成25年11月1日 Vol.130

シリーズ『輝く★地域活動』



西部地区『わくわく通学合宿』
輝く★はぐくむ友情

窪田地区『ジュニアサークル活動』
輝く★田んぼの見守り役



9月定例会

総括・常任委員会…2P 一般質問…4P

決算特別委員会…12P 予算特別委員会…14P 議案・説明会・その他…16P



決算特別委員会の様子

9月定例会

3日～27日

平成24年度 決算案件13件を認定

平成25年9月定例会を3日から27日までの25日間の会期で開催しました。

初日の本会議では、まず報告案件1件を了承した後、議員発議1件を可決し、議案26件及び請願1件を各委員会に、それぞれ付託しました。また、産業建設常任委員会を開催し、新文化複合施設新設建築工事請負契約の締結についてを審査しました。

5日、6日、9日には、15名の議員による一般質問が行われ、9日には、新文化複合施設新設建築工事請負契約の締結と、これに対する附帯決議について可決しました。また、新文化複合施設新設工事に係る契約案件2件と、職員給与の減額に係る議案1件の議案3件を追加上程し、各委員会に付託しました。

10日から13日までの4日間を決算特別委員会に当て、一般会計・10特別会計及び2企業会計における平成24年度の各決算について審査を行いました。

17日には総務文教常任委員会、18日には民生常任委員会、19日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願についての審査と現地調査を行いました。

20日には、予算特別委員会を開き、補正予算案件5件について審査を行いました。

24日には、悪臭問題特別委員会を開き、所管調査を行いました。

最終日の27日の本会議では、各委員長報告が行われ、決算案件13件を認定するとともに、補正予算案件などの議案16件をすべて原案のとおり可決しました。

今定例会に提出された請願1件については審議未了となりました。また、最終日に上程された友好都市提携の議案1件について可決し、意見書の提出に係る発議2件を可決、さらに追加上程された議員報酬の削減に関する発議1件を可決し、9月定例会を閉会しました。

常任委員会

9月17日～19日に開催された常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

本案は、歳計剰余金の財政調整基金への積立方法を変更することに伴い、同基金の積立額の見直し等所要の改正を行うとともに、米沢八幡原中核工業団地、米沢オフィス・アルカディアの未分譲用地を取得するため、新たに産業用地基金を設置するほか規定の整備を図ろうとするものです。

〔委員〕土地開発基金の当初の設置目的と産業用地基金の原資とする妥当性については。

〔財政課長〕土地開発基金は、昭和44年に公共用地の先行取得を目的に設置され、国からの財政支援や売却益の累積が現在の残高です。また、産業用地は、公共用地としての取得ではありませんが、本市の将来の産業振興、雇用拡大に繋がるものであり、そのため

の用地を先行取得するものであることから、合理的な理由があると考え、土地開発基金のストックを活用して産業用地を取得しようとしたものです。

〔委員〕今後、同様の条件で企業誘致を行う自治体が増える中で、多額の資金を投じることになるが、現在の方針で企業を誘致できるのか。

〔企業誘致主幹〕他自治体の優遇制度と比較し、本市の良さを前面に出して、その都度良い方針にしてまいります。特に、山形大学工学部の有機エレクトロニクスは世界の最先端を行く技術として応用に向けて動き出しており、米沢が最も進んでいることから、それを提示して誘致活動を進めてまいります。

◎採決に当たって

〔委員〕時間をかけて当局と議会とで議論を重ね、具体的により良い企業誘致方針にする必要があるもので、12月議会まで継続審査とします。

【委員】 山形大学工学部の有機エレクトロニクスの進展の中で、当該産業用地は大変重要で優良な準工業地域、工業専用地域で、今後新たな造成は考えられないことから、将来のまちづくりに向けた財産として有効に活用していくべきであり、基金の活用も妥当であることから賛成です。

▼米沢市特別職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の設定について

本案は、国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、平成25年10月1日から平成26年3月31日までの間、特別職の職員等の給与を減額して支給しようとするものです。

【委員】 今回の提案に当たり、職員団体との交渉で得られた一定の理解とは。

【総務課長】 職員団体から、「給与削減を前提として地方交付税を削減した国のやり方が極めてうまくないので、職員団体としては決して合意できない。しかし、交渉を重ねた結果、当局の減額しなければならぬ背景は理解した。今後は、お互いに前に進むよう努力しましょう。」という話をいただきました。

▼新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書提出方請願

本請願は、来年4月予定の消費税増税に伴い、各家庭の経済的負担が増し、新聞購読を中止する家庭が増えると、国民の知的レベルや社会への関心が低下する恐れがあるとして、複数税率導入、新聞への軽減税率適用を求める意見書を、政府に対して提出していただきたいとするものです。

◎採決に当たって

【委員】 インターネット記事の情報源が新聞であること、また、日本人の識字率が高く、文字文化が浸透している背景に、新聞の戸別配達という文化があることなどを考えると願意妥当であり採択とします。

【委員】 現在の経済状況下での消費税増税はすべきではないことから、増税を前提とした本請願は不採択とします。

【委員】 税制の複雑化は問題があり、消費税は単一税率とすべきなので不採択とします。

民生

▼米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、市民バスの廃止代替路線の普通使用料の一部を引き下げるほか、停留所の名称について規定の整備を図るものであります。

【委員】 停留所の名称の表記について、海外の方に対する配慮は検討されたのか。

【環境生活課長】 今回の名称変更は停留所全体ではなく該当する一部分の変更であることから考慮しませんでした。今後、表記の仕方を関連部署とともに検討してまいります。

【委員】 バス利用の意義、例えば二酸化炭素抑制等、環境面の配慮をPRして利用率向上を図ってはどうか。

【環境生活課長】 利用拡大のPR方法として参考にしたと考えています。



環境に配慮し、市民バスの利用促進を

【委員】 市と事業者が共に利用者を増やす方策を民間事業者と協議しているのか。

【環境生活課長】 南回りは、

利便性向上の方策を事業者とともに検討しており、それを実現したいと考えています。

産業建設

▼米沢市新文化複合施設新設建築工事請負契約の締結について

本案は、まちなかに図書館と市民ギャラリーの合築施設「新文化複合施設」を整備するもので、随意契約により契約を締結しようとするものです。

【委員】 入札不調後、随意契約により契約を締結することとした根拠は、地方自治法施行令第167条の2第1項第6号の規定に該当し、また、入札価格と予定価格との差の割合が随意契約に移れる割合であつたからとあるが、その割合に法的な根拠があるのか。

【契約検査課長】 法的な根拠はありませんが、本市の入札執行要領で定めている基準を準用したもので、今回の工事に限って改めて定めた基準ではありません。

【委員】 工事の入札が不調になった際の入札価格と予定価格との乖離約3億円について、最低価格で入札した業者

と協議し、随意契約に至ったとのことであるが、その乖離した要因は何か。

【建築住宅課長】 特に図書館の書架等について、本市の設計で採用した見積り額と、業者が徴収したメーカーの見積り額に相当の差があつたことが要因ではないかと考えられます。

【委員】 施設を建設することが主目的のようになつてしまっているが、本来の目的はまちなかのにぎわいづくり、中心市街地の活性化であることから、建設工事を進めるとともに、にぎわいづくりなどの検討も必要ではないか。

【建築住宅課長】 まちなかの商店街や関係者の方など、特に中心市街地活性化協議会と一緒に協議し、新文化複合施設を中心市街地の活性化に結びつける施策について、早急に検討してまいります。



新文化複合施設建設地



自民クラブ
遠藤 正人 議員

市が独自に全頭検査を実施することは難しいと考えております。

米沢牛のBSE対策について

米沢牛の安全・安心を堅持する対応として、独自にBSE全頭検査を実施すべきと考えるが、本市の対応はどうか。
〔市長〕 全国の75自治体で、本年7月1日から一斉に全頭検査の見直しが実施されていることなどを考えた場合、本

米沢牛のブランド化や他産地との差別化についてはどうか。
〔市長〕 米沢牛銘柄推進協議会において、国内で最も厳しい定義への改訂に向けた検討や、消費者や購買者ニーズに応えた、おいしい米沢牛の生



市政クラブ
高橋 義和 議員

災害時要支援者対策など防災計画の見直しを

東日本大震災で明らかになった課題を踏まえ、災害対策基本法が改正され今年6月に公布された。これを受け内閣府は、市町村が取組むべき具体策を示した『避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組み指針』と『避難所にお

ける良好な生活環境の確保に向けた取組み指針』の二つのガイドラインを公表した。この中で、避難行動要支援者名簿の作成と情報の共有、避難情報の伝達の多様化、備蓄食品の多様化と食物アレルギー対応食品の備蓄の検討など、取組むべきことが示された。この二つの指針に対して本市はどう取組んでいくのか。

産のための飼育技術の確立、また、これまで培ったブランド力を生かしたPR、販売対策などを推進し、銘柄米沢牛としてトップブランドの地位を確立し維持することで、本市産業の発展を牽引していきたいと考えております。

南米沢駅周辺の将来のまちづくりについて

現在の計画及び将来におけるビジョンはどうか。

〔建設部長〕 南米沢駅の北側は、住居系用途地域の指定により、主に計画的な住宅地としての土地利用を図る地域で

〔市長〕 災害対策基本法の改正により、高齢者や障がい者等を災害から保護するため、支援が必要な方の名簿を作成し、消防機関や民生委員等の地域の支援者との間で情報共有するという制度が創設されました。

該当する方に事業内容を説明し、今年度内に登録案内の発送に着手し、登録推進を図っていきたいと考えています。

また、避難所における生活環境の整備や避難所以外の場所での生活を余儀なくされた被災者への配慮など、国のガイドラインなどを踏まえ、避

あることから、都市計画道路整備に伴う代替地として考えております。

一方、都市計画道路万世橋成島線と市施工の都市計画道路石垣町塩井線は、市街地環状線を形成する主要幹線道路として市街地交通ネットワーク化を推進するための重要な路線であり、今後、県と協議を深めたいと考えております。

土地開発公社が所有する南米沢駅北側の土地の権利関係はどうか。

〔建設部長〕 農地法上の制約から所有権は仮登記となっているため、市や土地開発公社

難所の見直しや地域防災計画の修正等の検討を行いたいと考えています。



倉庫に収納されている備蓄品

廃棄小型家電の回収をどう進めるのか

今年4月より、貴重な資源であるレアメタル等のリサイ

への所有権移転登記には、区画整理事業や収用事業などの公共用地に供する具体的な事業の決定を行わなければならないこととなります。



現在の南米沢駅周辺の様子

クルを推進するため、小型家電リサイクル法が施行された。本市の準備はどのようになっているのか。

〔市民環境部長〕 廃棄物の処理については、置賜広域行政事務組合で行っているため、小型家電についても再資源化を効率的に進めるためには、他の市町との協議が必要と考えています。

関係市町と情報交換を行いながら歩調を合わせ、今後、取組んでいきたいと考えています。



自民クラブ
じみんくらうぶ

佐藤 忠次 議員
さとう ちゅうじ

コミュニティセンターの 建替え計画について

新設の松川や中部コミセンの建設が終わり、周辺部の古いコミセンの改築に向けて取り組んでいるが、今後の建替え計画は。

〔教育管理部長〕 今後のコミセンの建替えについては、老朽化状況、建設場所、国等の



日本共産党市議団
にほんきやうとうしぎだん

白根澤澄子 議員
しらね ざわすみこ

土砂災害ハザードマップの 作成を早期に

全国で豪雨災害が相次いでいる。大雨等による土砂災害を未然に防止するために、避難所や避難経路などを記載したハザードマップをできるだけ早く作成し、市民に周知する必要がありますのではないかと。〔市長〕 本市においては、

211箇所の土砂災害警戒区域177箇所の土砂災害特別警戒区域が指定されています。現在ハザードマップの原案を作成しているところであり、今後それぞれの地域ごとに代表者等と打ち合わせを行った後に地元説明会を開催し、今年度中には土砂災害ハザードマップを配布する予定です。

米沢中央インター周辺の 道路整備について

東北中央自動車道は、平成29年度に福島～米沢北インター間が完成との国土交通省からの発表があった。一番心配されるのは、米沢中央インター周辺の道路事情ではないか。南陽～米沢北間は有料であることから、上りのトラック等営業車は、県道米沢高島線に回り、中央インター周辺は混雑する懸念があるが解決策は。

迂回路にもなる都市計画道

プラネタリウムを更新し、 屋内遊び場の設置を

米沢市児童会館は今年創立30周年を迎える。開館時に設置されたプラネタリウムも30年がたち、設備の老朽化が指摘されている。更新計画を示すべきではないか。

〔教育長〕 開館当初から設置しております光学式のプラネタリウムは、老朽化が進み交換する部品も製造中止となっているものも多く、設置業者にも在庫がほとんどない状況にあります。施設の改修などについては、まちづくり総合

路万世竹井線は、歩道が分断され、急カーブがあり、見通しも悪く、非常に危険である。地区住民は一刻も早い整備を要望しているが、今後の計画は。

〔市長〕 今後、東北中央自動車道の開通による交通の流れや交通量などの状況を見ながら、道路ネットワーク全体の検討を行い、その結果、ご指摘の区間が4車線への拡幅が必要となれば、都市計画道路の変更も可能であります。

都市計画道路万世竹井線は、現在、市道中ノ目東屋敷線として2車線で通行してお



置賜地区唯一のプラネタリウム

計画実施計画の中で検討していきたいと考えています。雨や雪の日には子供たちが遊ぶことができる屋内の遊び場は、十分あるとはいえない。

りますが、4車線の整備ではなく、カーブを緩くし、歩道を整備するなど、市道の局部改良を進めることができないか等も含めて平行して、まちづくり総合計画の中で検討してまいります。



市道中ノ目東屋敷線の現状

現在、百貨店売り場を市民ギャラリーとしてお借りしているが、新文化複合施設が完成すれば移転するので、そこに子どもの遊び場を設置してはどうか。

〔健康福祉部長〕 3歳以上から小学校低学年が利用できる施設の整備が必要であると考えているところです。平成22年に実施しましたニーズ調査におきましても、屋内遊び場の充実のご要望を多くいただいていることも受け、まちづくり総合計画において関係機関と調整を図りながら検討してまいりたいと思います。



一新会
いっしんかい

渋間佳寿美
しぶま かつすみ
議員

限界集落の課題から
見えてくるもの

集落の中で65歳以上が半数を超えている限界集落を研究している多くの学者が、高齢化によって消滅した集落はないと報告している。もとより65歳を高齢者としていることや、限界集落問題を高齢化対策にしていることは間違っ

おり、むしろ家族や少子化の問題であり、発想を転換する必要がある。課題解決の一助としてT型集落点検という手法がある。家族や地域を再考する機会としてT型集落点検を採用してみてもどうか。
〔市長〕 T型集落点検は、現在及び10年後位の家族の繋がり等を基礎情報として集落の将来を予測するもので、現況



中山間と都市部は連続性があり、集落の機能を失わせてはならない！

のみの行政情報からは見えてこない、よりの確な現状認識と将来予測が可能と認識しています。この手法も含めて調査準備を進める考えです。

少子化対策にも発想の転換を

これまで国も地方も相当の予算をかけてきた少子化対策は、子育てと仕事の両立といった保育が中心になっている。しかし、結果的には出生数の増加に結びついていない。保育以前の問題である未婚化対策として婚活事業や若年層の雇用賃金対策があり、不妊治療の充実も必要である。保育中心は、現状にそぐわない対策で効果は限定的である。
内閣府の調査によると、出産後の数年は子育てに専念とするのが6割、すぐに保育と

するのが2割となっている。育児専念というニーズに対し何らかの手当てや育休補償への補助などすべきと考える。制度に人がついていくのではなく、人に制度を合わせるべきである。また出生数など目標値を設定すべきである。
〔健康福祉部長〕 国の制度に則って子育て支援を進め、新たな政策が出た場合は速やかに対応するよう国の動向を注視したいと考えております。目標値の設定については、米沢市子ども・子育て会議の中で協議検討してまいります。



市政クラブ
しせい いくぼ

小久保広信
こくぼ ひろのぶ
議員

貧困の連鎖を断ち切る施策は

平成21年の相対的貧困率は16%となっている。17歳以下の子供の貧困率は15・7%で、6人に1人が貧困状態である。ひとり親世帯では5割強が貧困状態であり、さらに深刻である。生活がやっとの家庭では子供の教育に十分にお金を掛けられず、それが学習

や進学に影響し、有利な職に就けずに貧困状態に陥る「貧困の連鎖」が心配である。どんな家庭環境に生まれるかは子供の責任ではなく、保護者の努力にも限界がある。社会全体で取り組む緊急課題だが対策をどう考えているか。
〔市長〕 本年6月26日に子供の貧困対策の推進に関する法律が公布されました。本市も、

国、県の動向に合わせて対応をしたいと考えています。貧困対策については、教育分野のみならず、福祉や労働等、多くの分野が連携して取り組む必要があります。指摘がありましたように、総合的な対策が必要であると考えています。

みなし寡婦控除の適用を

寡婦控除は、配偶者と死別や離婚をした場合、所得控除を受けられる所得税法上の措置であるが、婚姻をしていない人は対象外である。
寡婦控除規定で算出した所得が、地方税、国民健康保険

料、公営住宅入居資格と賃料、保育料等算定の基準となる。しかし非婚の母には、この規定が適用されず、寡婦と比較すると各種金額算定で著しい不利益を受けている
非婚の母を合理的な理由もなく差別することは、憲法14条等に違反することから、本市でも、みなし寡婦控除を導入すべきと思うがどうか。

〔健康福祉部長〕 非婚のひとり親世帯と、離婚などによるひとり親世帯との間で保育料などに差が生じている実態を踏まえ、市独自で対応できる部分については、他市の事例

や国の制度改正の動向や近隣市町の動向を注視しながら、今後、研究していきたいと思っています。





日本共産党市議員
高橋 壽

高橋 壽 議員

避難者の声が「支援法」に
反映されるよう国に要請を

8月30日、国は「原発事故子ども被災者生活支援法」実施のための基本方針を発表した。しかし、この中からは自主避難者のみなさんにとって、どのような施策が見えてこない。県と協議し、国に避難者の要望を伝えていくべ

きと考えるがどうか。

【総務部長】7月に、県外避難者の代表の方や、本市に避難されている方からも復興大臣宛に要望書が提出されているところ。避難者の緊急雇用対策など細かい部分も含め、避難者支援につながるように、引き続き要望活動をしていきたいと考えています。



明誠会
木村 芳浩 議員

木村 芳浩 議員

スポーツ行政の取組みについて

来年開催される冬季ソチ五輪に本市出身の瀧澤宏臣・浅星選手が出場候補に上がっているが、両選手への支援はどう考えているか。また、小中高生の各全国大会等の出場に対しての支援策はあるか。

【教育長】両選手の五輪出場

が決定次第、早急に関係部・課等と協議し、最大限の激励と激励金をお上げしたいと考えております。全国大会に出場する高校生及びスポーツ少年団には派遣費補助金として個人一人8千円、チーム最大16万円、国際大会は小学生から一般まで該当し、一人3万円を交付しております。また、小・中学校の児童・生徒が全

学童保育の条例化について

市町村は、2015年までに「学童保育条例」を策定することになった。条例化に当たっては、学童保育事業の公的責任を明確にする必要があると考えているがどうか。

【市長】国が定める放課後児童クラブの基準を踏まえて、市町村が施設整備・運営基準を条例で定めることとされています。本市の場合、市内全ての学童保育の代表の方々と作成した「米沢市放課後児童クラブガイドライン」やニーズ調査などをもとに条例、実

国大会に出場した場合の支援は、交通費・宿泊費・参加費用の合計額のうち、県大会60%、東北大会70%、全国大会80%の額を補助金として交付しております。

平成4年に開催された「ベにはな国体」以降、市内のスポーツ施設は老朽化が進んでいる現状であり、大会誘致等が非常に困難な状況にある。特に各野球場の早期改修が必要と考えるが計画はあるか。

【教育管理部長】野球場に関してはスコア表示の改正等があり、本市ではまだ改修していませんが、変更する時期に



放課後児童クラブの様子

施計画を策定していきたいと考えています。

小・中学校の普通教室にクーラー設置を

小・中学校の普通教室にクー



老朽化の進むスポーツ施設の早期改修を!

来ているものと理解しております。八幡原・西部野球場については一定程度の改修が見込まれますが、皆川球場については大規模改修が必要では

ラー設置を検討する時期ではないかと考えるがどうか。

【教育指導部長】学校の環境衛生基準につきましては、学校保健安全法において定められており、小・中学校の普通教室の望ましい温度を10℃、30℃としています。

今回市内各学校において、7、8月の夏休みを除く14日間の午後2時前後の普通教室の温度を、測定しました。その結果の分析や、周辺自治体の設置状況、各学校の意見などをもとに教育委員会で方針を検討していきたいと考えています。

ないかと考えております。

市営パークゴルフ場の整備計画はあるか。

【教育管理部長】八幡原の調整池に整備してはとのご意見をいただいております。次期まちづくり総合計画へ組み込みながら検討してまいります。

市営サッカーフィールドの合宿誘致の状況は。

【教育管理部長】新潟県を含む関東地域などの15都県281の大学に合宿誘致の概要等を送付し、PRに努めております。機会があれば、直接大学へも出向いてまいります。



いしながい
一新会

さいとうちえこ
齋藤千恵子 議員

**防災拠点としての
学校の役割について**

指定避難所となっている学校施設の防災機能の現状について尋ねる。現在休校になっている学校も含めて、果たして避難所としての機能を果たせる状態か、甚だ疑問であるがどうか。

〔総務部長〕 現在、コミュニ

ティセンターにだけ備蓄用の倉庫を整備していますが、今年度から、学校にも年次的に整備していきます。今後も避難所としての機能を充実させ、学校の防災機能の強化に努めていきたいと考えています。

学校避難所運営マニュアルの作成について尋ねる。災害時に避難所となる学校、その



コミュニティセンターに整備されている
防災資機材倉庫

避難所の運営を円滑に行うためには、このマニュアルは不可欠である。緊急を要しかつ重要なことであり、また、それを十分に認識しているはず

なのは何故進めないのか。

〔総務部長〕 学校避難所マニュアルを整備する必要性を感じているところです。学校や教育委員会と連携を図りながらこれから作成に取組んでいきたいと考えています。

東日本大震災から2年6ヶ月がたった今も、遅々として学校避難所運営マニュアルの作成が進まない要因として、庁内の連携の無さと危機感の希薄さが挙げられる。こう断言するには、人任せや対応のくい違い等があつて申し上げている訳で、このような危機感の希薄さでよいのか。

〔市長〕 市職員が一体となつて災害を乗り越えられるような体制づくりに努めます。

**社会体育の充実を図る
取組みについて**

長い間、要望や陳情の出ている社会体育施設の整備について、今後の具体的な整備計画はどのようなものか。

〔教育長〕 米沢市まちづくり総合計画の中で検討していきます。

米沢市スポーツ推進計画の策定の進捗状況はどうか。
〔教育長〕 平成26年3月策定予定です。



こうめい
公明クラブ

やまだふさこ
山田富佐子 議員

**特定健診率向上の
取組みについて**

本市の特定健診率は、県内においてワースト1の状況が続いている。現状についての認識と対策について、どのように考えているか。

〔市長〕 県内35市町村で最下位の原因について、なぜ低いのかを深く掘り下げ、納得の

いく理由に突き当たるまで調査するよう改めて指示をしたところです。

単身、夫婦のみの世帯が増えていく。これからは、誰かが頑張るのではなく「向こう三件両隣」を復活させ、自助・共助・公助プラス近くで助け合う「近助」の関係、人と人が縦横無尽につながる風通しの良い関係を構築していく必



健診率の向上を！

要がある。その中で、地域の人材を活用し、地域の健康づくりを推進してくれる健康サポーター等を設置することで

健診率向上が期待されると考えるがどうか。

〔健康福祉部長〕 地区の方との連携を重要視し、健康サポーターの役割について、今後検討したいと考えています。

アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査は、血液検査により胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、乳がん、子宮がんの6種類のがんリスク判定ができる。女性のがん検診の「恥ずかしさ」解消や、短時間で検査ができる身体的苦痛が少ないことが利点である。また、ピロリ菌の有無と、胃粘膜の萎縮度を調

べる胃がんリスクABC検査は、バリウムの誤嚥事故や、狭い検査台の上で何回も回ったり、げっぷを我慢したり、検査後の便秘等、高齢者の苦痛が大きい。高畠町を始め、全国自治体で導入されているが、本市、そして米沢市立病院での導入の考えはあるか。

〔健康福祉部長〕 複数の自治体で導入していますが、今後国の動向や自治体の実施状況、医師会の専門的なご意見も伺い検討していきます。

〔市立病院事務局長〕 両方の検査を人間ドックオプションとして実施のため準備中です。



市政クラブ
市議会

佐藤 晃 議員

公共施設の建設計画について

次期の総合計画第5期実施計画に反映できるよう質問するが、今後の公共施設の建設計画は。

〔市長〕 東北中央自動車道の平成29年度開通に合わせた道の駅の建設や市立病院の建替えなどを考えています。

〔教育長〕 コミセンの建替えについて、12面を新設するよう要望されておりますが、既存

については、老朽化の状況等を総合的に勘案し、更新整備計画について検討いたします。

スポーツ施設の整備状況は

市民の方やスポーツ団体から要望のある施設を、今後どのように整備していくのか。

〔教育長〕 テニスコートについては、12面を新設するよう要望されておりますが、既存



自民クラブ
市議会

堤 郁雄 議員

発達障がい児支援基本計画の策定を

発達障がい児支援基本計画を策定してはどうか。

〔健康福祉部長〕 現在、本市には発達障がい者支援機能を持つ事業所や施設がないことから、発達障がい児支援に特化した計画ではなく、第4次米沢市障がい者計画の中に、発達障がい

企業誘致方針の転換を

企業誘致に思い切った施策が必要と思うがどうか。

〔市長〕 中小企業基盤整備機構から本市が取得する土地の価格との差益を利用して、これまでの市の助成制度を見直

施設の砂入り人工芝化を、また、ソフトボール場については、陸上競技場のサブグラウンドで大会ができるよう検討しています。野球場のSBOの表示については、変更する時期にきています。

パークゴルフ場についての答弁は。

〔教育長〕 答弁漏れがあり申し訳ありませんでした。パークゴルフの競技人口が増えている現状をみるに、総合計画の中で検討いたします。

水道行政について

本市の市民の方々は、県企

として、助成金を大幅に上乘せする形で企業が用地を取得しやすいようにする考えです。また、用地の賃貸借制度についても、企業からの要望が高いことから、制度の導入に向けて前向きに検討を進めているところです。

〔産業部長〕 用地取得にあたり検討している中において

は、インパクトの強い誘致が大事と思っておりますが、現在助成制度をより拡充して、30%から50%、結果的には土地代金が安くなるような仕組みを訴えて、誘致活動をしてまいります。



宮城県加見町のパークゴルフ場

業局で浄化した水道水を利用している。しかし、災害等が発生した場合の対処として、自前である館山浄水場が必要であり、整備すべきと思うが

学童保育施設について

学童保育に小学校施設をもっと利用できないか。

〔健康福祉部長〕 学校を放課後児童クラブが利用すること

については、学校の立地条件や教室の配置などで使用上の条件が異なることから、個別に検討してまいりました。平成27年度には、子ども・子育て支援新制度がスタートしますので、地方版子ども・子育て会議を設置し、第1回目の会議を10月に実施する予定です。学校利用については、関係機関による検討と合わせ補

どうか。

〔水道部長〕 館山浄水場は、建替える予定であります。

老朽管の交換状況はどのようになっているか。

〔水道部長〕 24・5kmの更新計画のうち、前年度で44・7%の進捗率です。今後とも更新に努めてまいります。

本市の水道普及率は県内でも低い状況にあり、未普及地区の解消を図るべきでないか。

〔水道部長〕 11地区が該当します。関係各課と協議を行い事業実施の可能性やその方法について検討してまいります。

助金を活用した設置の検討も視野に入れながら、子ども・子育て会議の中でご意見をいただき進めてまいります。



塩井小学校の施設を利用して行われている放課後児童クラブ



せいりんかい
政 麟 会

やまむら
山村

あきら
明 議員

東北中央自動車道と
その関連について

東北中央自動車道の完成予定年度、道路及び通行状況、規制や料金についてはどのような計画になっているか。

〔建設部長〕 福島米沢北間は平成29年度の供用、南陽高島から山形上山間については平成30年度の供用を目指し、P

Rをしています。

福島米沢間の追い越し車線についてはトンネルと橋の連続になり、全体的に直線が短いため、福島市内に1箇所、譲り合い区間として計画されています。

速度については最低速度が50キロ、最高速度が70キロの予定です。

トンネル前後の勾配は、山

形県側の最大勾配が2.5%、福島県側の最大勾配が3%です。

料金については米沢南陽道路、南陽高島から山形上山間、現在供用されている山形上山間から東根間が有料区間となります。東根から尾花沢間は、国の直轄事業であり、無料区間となります。

米沢インターチェンジから市街地へのアクセス道路である都市計画道路万世橋成島線の整備計画は。

〔市長〕 事業主体の県では、財政的な課題があり、現時点では見通しがつかないとのこと

とです。

国道13号の4車線化について

東北中央自動車道の目処が立ったことから、国道13号の4車線化も上山から南へ延ばしてもらえるように、市長にがんばっていただきたく、決意を伺いたい。

〔市長〕 ご意見のように、努力したいと思います。

建設予定の道の駅について

市民からは、民間のノウハウを生かしてやっていかないと失敗するのではないかと意見があるが、当局と検討委

員会の考えはどうか。

〔産業部長〕 検討委員会でも触れられており、民営の活用は有効な手段だと思っており、そのような方向で進めたいと考えています。



道の駅基本構想検討委員会において開催された講演会の様子（講師：畦地履正氏）

いっしんかい
一新会

えびな
海老名 議員



山形大学工学部や米沢女子
短期大学との連携について

本市と両大学とのこれまでの関係や、新たな連携事業の模索、今後の連携のあり方について、どのように考えているのか。

〔市長〕 山形大学工学部には有機エレクトロニクスに関する支援として、オフィス・ア

ルカディアにおける施設用地の無償提供や建設費の一部補助をはじめ、様々な事業へ支援しており、米沢女子短期大学には栄養大学設置支援と建設費等への財政支援をしております。新たな連携としては、有機エレクトロニクス分野での連携をさらに推進し、新設される栄養大学とは米沢の食文化の特性を生かした事業が



9月13日に開所式典及び内覧会が行われた山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター

できるものと期待しております。今後は商業や中心市街地活性化の視点から、大学組織だけでなく直接学生に呼びかけた市民との連携も検討して

まいります。

保育施設・小中学校での
食物アレルギー対応について

本市の児童・生徒の食物アレルギーの現状はどうか。

〔健康福祉部長〕 市内の保育施設に通う児童3116人中129人となっております。

〔教育長〕 小学校では4702人中137人、中学校では2466人中93人となっております。

エピペン使用についてどのような対応をしているのか。

〔健康福祉部長〕 厚生労働省が策定したガイドラインに

沿った形で対応し、エピペン講習等の情報提供を積極的に進めてまいります。

〔教育長〕 エピペン使用に関する研修会を実施しており、10月にも実習を行います。

今後の食物アレルギー対応についてどう考えているか。

〔健康福祉部長〕 誤食による発生を防ぐために配膳カードを作成する等、マニュアル整備が必要と考えております。

〔教育長〕 現在医師会の協力を得て食物アレルギー対応マニュアルを作成しており、適切な運用により対応してまいります。

8月臨時会で審議された議案等

議案番号	件名	結果
報第13号	専決処分事件の報告について	承認
議第69号	米沢市立第四中学校増改築建築工事請負契約の締結について	可決
議第70号	平成25年度米沢市一般会計補正予算（第3号）	可決

9月定例会で審議された議案等

議案番号	件名	結果
報第14号	平成24年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	承認
認第1号	平成24年度米沢市一般会計歳入歳出決算	認定
認第2号	平成24年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第3号	平成24年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算	認定
認第4号	平成24年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	認定
認第5号	平成24年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第6号	平成24年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算	認定
認第7号	平成24年度米沢市下水道事業費特別会計歳入歳出決算	認定
認第8号	平成24年度米沢市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算	認定
認第9号	平成24年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算	認定
認第10号	平成24年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第11号	平成24年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算	認定
認第12号	平成24年度米沢市水道事業会計決算	認定
認第13号	平成24年度米沢市立病院事業会計決算	認定
議第71号	米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	可決
議第72号	米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第73号	米沢市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決
議第74号	米沢市下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	可決
議第75号	市道路線の廃止について	可決
議第76号	市道路線の認定について	可決
議第77号	平成25年度米沢市一般会計補正予算（第4号）	可決
議第78号	平成25年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決
議第79号	平成25年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決
議第80号	平成25年度米沢市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議第81号	平成25年度米沢市立病院事業会計補正予算（第1号）	可決
議第82号	平成24年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について	可決
議第83号	米沢市新文化複合施設新設建築工事請負契約の締結について	可決
議第84号	米沢市新文化複合施設新設機械設備工事請負契約の締結について	可決
議第85号	米沢市新文化複合施設新設電気設備工事請負契約の締結について	可決
議第86号	米沢市特別職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の設定について	可決
議第87号	友好都市提携について	可決
発議第11号	米沢市議会委員会条例の一部改正について	可決
発議第12号	「議第83号米沢市新文化複合施設新設建築工事請負契約の締結について」に関する附帯決議	可決
発議第15号	米沢市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例の設定について	可決

請願及び意見書提出にかかる発議の採決結果は、16頁に掲載しております。

中小企業基盤整備機構の未分譲用地の取得について



いっしんかい
一新会

なかむら
中村

けいすけ
圭介

議員

現在、中小企業基盤整備機構で所有する産業用地「八幡原中核工業団地、オフィス・アルカディア」の分譲業務が、平成26年3月31日までに終了する。本市では、この産業用地分譲業務を継承し、団地造成本来の目的を達成させるた

めに今定例会に産業用地取得に要する費用を計上しているが、今後新たに取組む戦略的な企業誘致について伺う。
〔市長〕 機構からの取得価格と販売価格には差益が生じるので、この差益を利用して助成金制度の拡充や賃貸借制度の導入について、前向きに検討を進めます。また、民間の不動産業者への仲介業務委託

や、民間活力を生かした専門的な人材雇用なども考慮し、組織の強化を検討してまいります。
機構から取得する金額や、販売する価格を設定するにあたって専門家等にアドバイスを求めたのか。
〔産業部長〕 求めているとおりませんが、取得価格については中小機構の鑑定評価を重要視して適正な価格と判断いたしました。

千葉県我孫子市では、企業が立地しやすい環境を整備するために、企業立地調査報告書を作成している。その報告書をもとに、今年新たに企業立地推進課を設けて誘致活動に取組んでいる。本市でも企業誘致に関するしっかりとした基礎資料をまとめることで、より具体的に効果の高い施策を打ち出せると考えるがどうか。
〔産業部長〕 我孫子市の事例は、これから勉強させていた



オフィス・アルカディアの未分譲地

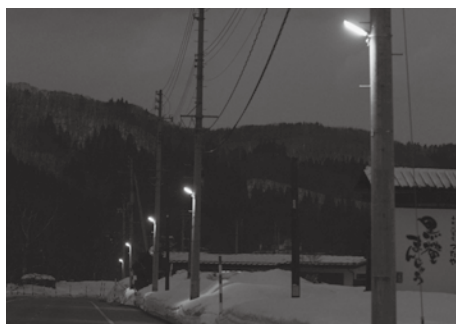
伺う。
〔市長〕 ご質問にあるようなものをまとめてみたいと思います。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月10日から13日までの4日間にわたり開催し、一般会計・10特別会計・2企業会計における平成24年度の決算を審査しました。その結果、いずれも認定すべきものと決まりました。決算特別委員会の概要と質疑の主なものは、次のとおりです。

【委員】LED防犯灯設置費補助金について、全ての街路灯をLED化していくのか。

【環境生活課長】当初は、公衆街路灯約7000灯のうち、1500灯程度を切り替える考えでしたが、最近は、省エネ化ということで、LED照明が脚光を浴びており、町内会からの反響も大きいことから、方針転換して、約7000灯全部をLED化したい考えでしたが、最終的には、5期実施計画で検討し決定したいと考えています。



公衆街路灯の全てをLED照明に

【委員】ふるさと納税の件数と額、経費の主な内容について知りたい。

【総合政策課長】平成24年度は、49件で316万円であり、事業に要した費用としては、パンフレットの作成のほか、金額が多いのは3万円以上の納税者に、広報を送付し、本市産米3キロを送っている対応です。

【委員】東日本大震災による避難児童が入所し、避難児童支援室設置事業補助金を活用している分園「光」の入園状況は。

【こども課長】入園しているのは、福島からの避難児童だけで、以前の入園者30名から現在は20名が入園しています。

【委員】本当の意味での自立には、障がい者の雇用を増やす必要があると思うが、その状況は。

【社会福祉課長】平成24年度の障がい者の職業紹介の状況は、登録者が、153名、ハローワークからの紹介が、305

件あり、採用まで結びついた方が78名と登録者の約半数が採用されました。

【委員】第一中学校及び愛宕小学校の太陽光発電量と、学校での学習状況は。

【教育指導部長】太陽光発電システムが10キロワット、蓄電システムが15キロワットアワーで、災害時に必要最低限の電気を確保できるように想定しております。また、学習については、理科室前や、昇降口にパネルを設置して発電量等がわかるようになっており、理科室での実験のほかに実際に動いているのを確認して勉強しています。

【委員】本市は雪国なので、発電効率が悪いと認識している方が多いが、実際の発電はどうか。

【環境生活課長】昨年度は、工事が年度後半だったため実態が分かるのは今年度と考えています。今年度は、第六中学校と、南原小学校に設置する

予定で、地面に対し斜めに設置した第一中と、愛宕小に対し、第六中と、南原小では、垂直に設置する予定であり、両者の効率の違いを分析し、今後に生かしたいと考えています。



山形大学工学部から講師を迎えて開催された理科実験講座の様子(愛宕小学校)

【委員】寒中野菜について、市の今後の取組みは。

【農林課長】本市の弱い部分である、冬場の農業生産の大切な作物として考えています。単価もとれる作物ではありませんが、大変な重労働であると感じています。できるだけ労力を緩和できるような体制を

とって新しいブランドの確立につなげていきたい考えです。

【委員】市民農園の利用状況は。

【農林課長】市内3箇所、65区画あり、現在全て埋まっている状況です。利用者は63名で、複数区画を利用している方もおられますが、利用希望者と、区画数は、ほぼバランスがとれています。

【委員】公共や民間で、木材利用の事業はないか。

【農林課長】市有林の間伐材は、ペレット化、チップ、合板への利用を進めているほか、公共建築物への活用の基本方針を昨年度決めており、道の駅、新文化複合施設、コミュニティセンターなど、利用可能なところには多く使っていただけるよう調整したいと考えています。

【委員】天元台ロープウェイ制御装置更新等工事の位置づけと、リフトの改修について。

【商工観光課長】今回の索道施設整備は、平成24年度から平

成28年度の5箇年計画の一部であり、平成24年度は、ロープウェイの制御装置の改修を行い、今年度は、制動機等の整備、来年度以降は、曳索などのロープ関係の整備を行うものです。リフトについては、平成18年度から22年度で整備済みです。



5箇年計画で整備が行われている天元台ロープウェイ

【委員】 ロープウェイ、リフトの更新後は、大きな投資は行わないのか。

【商工観光課長】 アルプの改修なども改めて検討したいと考えています。

【委員】 おもしろい観光大使の事業内容は。

【商工観光課長】 観光大使には2種類あって、一つが著名人に市からお願ひしている推薦型で、こちらはこの春に委

嘱した眞島秀和さんを加えて9組10名です。もう1種類は、自らの応募による公募型で、こちらは、今年度2名加わって22名であり、この方々に米沢の広報、観光情報、イベント情報をお伝えしていて、本市のPRをお願いしています。

【委員】 排雪の時期と回数等の状況は。

【土木課長】 排雪は、道路への積雪状況や、路肩の積雪の高さを勘案しながら適切に進めており、降雪量によっては、正月前の早い時期に実施した場合もあり、また、雪捨て場に続く幹線道路を先行してやるなどし、効率的、タイムリーな実施に努めています。

【委員】 道路冠水の恐れのある箇所は。

【土木課長】 冠水想定箇所としては、現在のところ、県道では、通町ガード、下花沢の六部跨線橋の東側、県道板谷米沢停車場線の市野々ガードの3箇所、市道では、花沢ガード、塩井アンダーパスの2箇所です、計5箇所です。

【委員】 こうした箇所の改善の状況は。

【土木課長】 市道では、花沢ガードは、平成22年度にポンプ稼

動、排水路の改善を行っています。また、塩井アンダーパスについては、圧送管方式での改良を設計中です。花沢跨線橋の東側についてもバイパス水路を現在施工しています。

【委員】 市営人工芝サッカーフィールドの使用時間を現在の午後9時までから1時間延長して午後10時まで延長できないか。

【体育主幹】 ナイター利用できる施設がほかに5箇所ありますが、いずれも、近隣の住宅等への影響を考慮して午後9時までの利用にしていますが、地域及び競技団体と協議・検討したいと思っています。



ナイター利用時間の延長が望まれている市営人工芝サッカーフィールド

【委員】 消火栓の新設は毎年何箇所と数が決まっているのか。

【危機管理主幹】 毎年3箇所の予算を確保しており、消防団の要望を受けて、設置しています。

【委員】 平成24年度のインターネット公売の状況は。

【納税課長】 不動産が30件で、1372万2099円、動産が124件で、117万1738円の合計154件、1489万3837円の収入となりました。

【委員】 置賜広域水道からの供給が止まった場合の水源とその供給量は。

【水道施設課長】 浄水能力を最大まで使う場合、館山浄水場で7500立方メートル、田沢、白布、板谷の各浄水場を合わせて2300立方メートル、地下水は成島と南原の2箇所のポンプ場で3200立方メートル、以上を合わせると、13000立方メートルとなり、本市の1日当たりの供給量23300立方メートルの56パーセント程度まで供給できる見込みです。

【委員】 道路の植樹の花植えの実施状況は。

【都市計画課長】 植樹は、都市計画課が実施している場所については、モデル事業で花を



多くの市民のご協力により行われている花苗の植栽

植えているところがあり、そこは、ボランティアでやっています。市庁舎まわりについて建設部の職員のボランティアをやっていますが、今後、より多くの市民の力をお借りしてやっていきたい考えを持っています。

【土木課長】 土木課が管理している市道部分については、植樹がたくさんありますが、道路美化ボランティア活動の取り組みがあり、この考え方をものとPRして市民の方々の力をお借りしたいと考えています。

【委員】 皮膚科と呼吸器科に常勤の医師を配置できないか。

【市立病院事業管理者】 医師の招聘については、大学に定期的に伺ってお願いしているところ、新たな大学にも招聘についてお願いしていく考えです。

予算特別委員会

9月20日に開かれた予算特別委員会では、補正予算5議案を審査しました。その中から質疑の主なものをお知らせします。

【委員】 山形大学工学部によると、オフィス・アルカディアへの進出については、現在40社程が手を挙げているが、今回、市が方針として示している土地の賃貸借による誘致では困難であり、建て貸しの賃貸であれば来るだろうということである。企業誘致方針をもっと練り込んだ内容にすべきと考えるがどうか。

【企業誘致主幹】 今回の「新たな企業誘致方針」は、長期的なものであり、他の団体で採用している手法等を参考に、随時新たなものに充実させたいと考えております。

【委員】 中小企業基盤整備機構から未分譲地を市が取得した場合、早期に分譲していくことが求められるが、当局と議会との議論、当局内における全庁的な議論も不足しており、まだまだ議論と検討を重ねる必要があるのではないかと。

【企業誘致主幹】 誘致活動を続けながら、より良いものにした

たいと考えております。

【委員】 山形大学工学部との連携については、企画調整部と産業部がばらばらに対応するのではなく、市一体となって臨む体制が重要であり、また、戦略的な組織に変えていく必要があると思うがどうか。

【市長】 人員体制については、今後検討してまいります。また、山形大学工学部の魅力として進出したいということもあります。オフィス・アルカディアができた当初とは違って、別のチャンスがやってきたと思っており、この波に上手に乗っていかねければならないと考えております。

【委員】 サイエンスパーク構想については、3月定例会の代表質問で、山形大学工学部からの持ちかけがあれば対応するとの答弁であったが、今回は商工会議所等と相談しながら進めるといふことであるが、人任せであり、市としての構想はないのか。

【市長】 サイエンスパークについてはイメージの段階であり、熟度が高まっている段階ではありませんが、強い希望はあります。熟度が高まっていく中で、その時に応じた話しはできると考えております。

【委員】 有機エレクトロニクス関連はもちろん、蓄電デバイス等、事業化が期待される研究をされている先生には山形大学工学部に留まっていたでなく必要がある。市の組織内で情報を共有し、山形大学工学部の素晴らしさを市民に広めていかなければならない。学園都市推進事業も見直しして、今後の実績につなげていくべきと思うがどうか。

【教育総務課長】 人的なつながりをさらに太くしていくことは重要であり、切り札を持つべきというのはその通りであると考えております。



オフィス・アルカディアに建設中の蓄電デバイス研究開発センター

【委員】 中小企業基盤整備機構から未分譲地を市が購入した後、塩漬けの土地にならないか心配であるがどうか。

【市長】 オフィス・アルカディアについては、中小企業基盤整備機構からは、大型ショッピングセンター誘致の話がありました。本来の企業誘致を進め、また、本市参加を通じて山形大学工学部とのパイプを太くする努力もしてきました。これらのことにより、近々芽が出てくると思っており、ここで大きく頑張っていかなければならないと考えております。

【委員】 廃止代替路線バスの、屋根付きバス停の設置については検討されたか。

【教育総務課長】 市立病院前バス停への設置を検討しましたが、病院建替の計画があることから、屋根付きバス停は設置せず、それに替わるものとして、バスが近くに来ていることが分かる表示板を正面玄関出口に設置し、門東町三丁目バス停利用者の利便のため米沢共立ビル内にも同様の表示板を設置しました。

【委員】 本市でも取組むことになった次世代自動車充電インフラ整備について、どのような経緯で「道の駅田沢」に

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だより、悪臭問題特別委員会の活動の様子などを紹介しています。また、本会議の様子を録画中継しております。アドレスは下記のとおりですのでぜひご覧ください。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1013.htm>

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 22-5111 (内線 5623・5624)

議会を傍聴してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。次回の定例会は12月に開催されます。



設置することにしたのか。

〔地域振興主幹〕県においては、県内全ての道の駅に対し急速充電器の設置を早めたいとの意向があり、追加の補助が予定されております。これについては、今年度中に設置することが条件であることから、この度、本市の「道の駅田沢」への設置も名乗りを上げたところとです。



急速充電器の設置が予定されている「道の駅田沢」

〔委員〕本市の入札制度において、同一入札参加者同士の下請けは禁止しているが、これは県内で本市だけであり、地元業者を使っていく、育てていくこと等を考えた場合、この制度を見直す時期がきているのではないかと。

〔企画調整部長〕入札時に落札業者よりも高い額で入札した業者を下請けとすることは、社会通念上考えにくいこと及び談合の防止が目的であり、

適切な競争性を確保する上で必要であると考えております。

しかしながら、入札辞退、市外の業者の下請けという事例も出てくることから、相指名の条件緩和を含め対策が必要と考えているところでです。

〔委員〕保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金と放課後児童クラブ指導員処遇改善支援事業費補助金については、賃金改善を図るものであるが、補助金を受けた後、実際に賃金が上がったかどうかの検証が必要だと思いがどうか。

〔子ども課長〕年度末に実績報告書を出していただきますので、その中で確認できるものと考えております。

〔委員〕以前、放課後児童クラブ・学童保育における、小学校の余裕教室の利用、学校敷地内への単独施設の設置については、ルール作りをしていきたいとの答弁があったが、どのようなルールを作っているのか。

〔子ども課長〕平成27年に向けて検討することにしておりますが、「子ども・子育て会議」における全体的な検討と同時に、今後は、建物の更新を考えている放課後児童クラブと協議していく必要性を認識しており、現在、教育委員会と

担当レベルの協議を始めているところとです。

〔委員〕中小企業基盤整備機構が所有する未分譲地を購入する時期と、市が分譲できるようにする時期について、また、分譲に係る事務の対応と、土地利用の制限についてはどうか。

〔企業誘致主幹〕9月議会で議決となれば、譲渡手続きに入り、12月定例会に取得に伴う契約案件を上程し、12月末に市の所有となり、1月になれば市が直接売買できるようになります。土地の売買契約については、今年度末までは、中小企業基盤整備機構及び財政課管財主幹と連携して契約に当たりたいと考えております。土地の利用制限については、誘導業種を中心として、方針に基づいて検討してまいります。

〔委員〕高齢化率が高く除排雪協力会をつくれぬ町内等があるが、除雪の負担軽減のため、ロータリー車を増やして対応することも一つの方法と考えるがどうか。

〔土木課長〕押雪軽減という取り組みを行い高齢者対策に当たっております。ロータリー車の台数や大きさの関係で、どのような対応ができるか、研

究させていただきます。

〔委員〕ゲリラ豪雨等で全国的に大きな被害がでているが、河川に自生している樹木が一気に流されると災害につながるおそれがある。危険箇所の把握や河川の災害について、どのように対応する考えか。

〔土木課長〕所管の県では、河川のアダプト事業の中で、建設業者に参加いただくアシスト事業で重機による支障木対策も行っております。県では河川整備や維持管理事業を年次計画によって進めておりますが、引き続き事業の推進を県に求めてまいります。

〔危機管理主幹〕県とともに河川の巡回を行っており、危険箇所については、調査結果に基づいて、県に対処を要望しております。

〔委員〕市立病院の医療従事者の制服が変わったが、職員給与を減額しようとしている時に、新しい制服を支給するというのはおかしいのではないかと。また、前年度は黒字決算となっていたが、職員給与に還元できないのか。

〔市病総務課長〕黒字の還元としては、職員の賃金等に還元できないことから、財政措置として職場要求に応え制服を支給したものです。

車椅子利用者の方も傍聴できます。

本会議場には、昇降機を利用して、車椅子利用者の方が傍聴できる席（付き添いの方を除き約5名分）があります。市役所正面玄関の総合案内にお声がけいただけますと、議会棟へ職員がご案内いたします。利用なさる方は、事前に議会事務局に連絡をいただくと円滑にご案内することができます。

なお、定例会は6月、9月、12月、3月に開会される予定です。どうぞご利用ください。

●議会事務局 TEL 22-5111（内線 5623・5624）



9月定例会に上程された請願の審議結果は次のとおりです。

..... 審議未了

◆新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書提出方請願

(米沢市新聞販売店会 山形新聞米沢南専売所
加藤 真一)

..... 意見書

◆地方税財源の充実確保を求める意見書

(内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、内閣官房長官、
内閣府特命担当大臣(経済財政政策)あて)

◆「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する 地方の財源確保」のための意見書

(内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、
環境大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長あて)

9月定例会最終日に議員提出の意見書2件を
原案どおり可決し、直ちに関係機関へ送付
しました。

スポット

管内行政視察報告

9月18日、民生常任委員会において、市内の福祉施設や保育施設の視察を行いました。いずれの施設も様々な課題に対し、解決のための努力を惜しまず、高い志で運営されており、施設の必要性や支援の継続性が大変重要だと感じた視察となりました。

デリシャス笑店

障がい者の就労支援として様々な就労の場が必要なことから、直江町地内において、バイキング形式のレストランを運営しています。障がい者も楽しく働くことができる職場を目指しています。



特定非営利法人 地域福祉共生会

林泉寺2丁目地内にあり、障がい者と障がい児童の短期入所やデイサービスを行う福祉施設です。特に重度の障がい者には、身体状況に応じた個別対応が行われています。



信光寺の境内内にある保育園です。手狭なため、また、多様化する保育ニーズに対応するため改築等が予定されています。

社会福祉法人照護会 松ヶ岬保育園

市議会12月定例会 日程(予定)のお知らせ

12月2日 開会(本会議)

4日 一般質問

5日 一般質問

6日 一般質問

9日 総務文教常任委員会

10日 民生常任委員会

11日 産業建設常任委員会

12日 予算特別委員会

13日 悪臭問題特別委員会

18日 最終日(本会議)

※請願の提出期限は11月25日(月)午後5時です。

日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。

☎22-51111

(内線5623・5624)



あとがき

今年は、異常気象ではないかと思わせるような気候が続いております。

この度の9月定例会におきましては、決算の審議を始めとして、愛知県西尾市との友好都市提携について、米沢八幡原中核工業団地と米沢オフィス・アルカディアの未分譲地を中小企業基盤整備機構から取得するため、新たに産業用地基金を設置することなど、将来の本市にとって大切な議案を審議いたしました。

また、10月には「市民に開かれた議会、そして身近で信頼される議会」を目指し、市内17地区でコミュニティセンター等を会場に「議会報告会」を開催するに至りました。

今後とも全議員が一人ひとりと、市民の皆様の生活向上のため、邁進してまいります。

【編集副委員長 遠藤正人】

